

地域密着型金融の取組み状況【 1】(20年4月～21年3月)

加茂信用金庫

1. 項目	【大項目】1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化 【小項目】(2) 経営改善支援
2. タイトル	融資部中小企業支援課による中小企業再生支援活動
3. 動機(経緯)	地域金融機関として、取引先企業の業況を十分に把握し、営業店および中小企業支援課が取引先企業と一体となって、適切な経営指導に取り組むことが重要であると考え、地域金融機関としての役割である資金繰り支援や経営相談等に積極的に取り組む。
4. 取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取引先企業先への定期訪問による実態経営の把握による支援強化および住宅ローン先、消費者ローン先等個人に対するライフサイクルに合わせたローン推進を徹底化している</li> <li>・中小企業支援課による経営支援の継続と強化</li> <li>・職員の融資審査能力向上のための目利き研修等の継続実施</li> <li>・県および市制度資金の積極的活用</li> <li>・「かもしんきん緊急不況対策支援資金」の創設</li> <li>・商工会議所、商工会、各協同組合との情報交換の活発化</li> <li>・地域経済の把握と業種毎の情報収集</li> </ul>
5. 成果(効果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「かもしんきん緊急不況対策支援資金」の今年度の取扱実績は42件、384百万円であり、「原材料価格高騰対応等緊急保証制度」を加えた緊急融資としての支援総額で269件、2,158百万円。</li> </ul>
6. 21年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題	<p>【評価】 経済停滞など変化に対応できる経営改善計画作成・指導・支援の結果、倒産件数は減少し、大きな倒産もなかった。 また、支援の相談が増加してきた。</p> <p>【今後の課題】 時代と経済の変化に対応できる目利き力を備えた人材の育成が必要とされる。</p>
7. 添付資料	
8. 備考	

地域密着型金融の取組み状況【 2】(20年4月～21年3月)

加茂信用金庫

1. 項目	<p>【大項目】2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底</p> <p>【小項目】(2)「目利き機能」の発揮に向けた取組み</p>
2. タイトル	目利き力と分析能力の向上
3. 動機(経緯)	<p>中小企業に対して適切な融資手法を活用した円滑な資金支援を行うことが地域金融機関としての使命であり、中小企業支援課を中心として財務分析等の指導を行っており、時代の変化に対応できる人材育成の取組み。</p>
4. 取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全信協や関信協および県信協主催の各種研修への積極的な派遣による目利き力や融資手法、企業分析等の能力向上。</li> <li>・外部研修参加者を講師とした庫内研修の実施。</li> <li>・担当業務や職位、経験等を踏まえた各種通信講座の受講によるレベルアップ。</li> <li>・融資部主催の「融資勉強会」および金庫内研修の実施による能力向上。</li> </ul>
5. 成果(効果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成20年度は全信協、関信協および県信協が主催する各種研修に、延べ35名派遣いたしました。</li> <li>・金庫内研修につきましても22回開催して、延べ520名が参加いたしました。</li> <li>・各種通信講座につきましては、延べ38名が受講をいたしました。</li> </ul>
6. 21年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題	<p>【評価】</p> <p>担当業務や職位、業務の経験年数によって、各々対象者を限定した研修により、理解度は向上している。</p> <p>【今後の課題】</p> <p>研修等は継続的に実施する事により効果が現れるものであり、今後も計画を立て効果的に実施していきたい。</p>
7. 添付資料	
8. 備考	

地域密着型金融の取組み状況【 3】(20年4月～21年3月)

加茂信用金庫

1. 項目	【大項目】3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献 【小項目】(2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供
2. タイトル	商工会議所等との連携による地域経済への支援強化
3. 動機(経緯)	地域経済活性化については、商工会議所や商工会、各協同組合との連携がより重要であり、地域金融機関として地元企業の支援・育成や、企業再生および創業支援に積極的に取り組む。
4. 取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商工会議所や商工会との連携により、資金面の支援として「商工提携保証(アローズ・スクラム)」の利用促進。</li> <li>・日常活動において、常に商工会議所・商工会の指導員とも連携して経営改善等の指導・育成に取り組むとともに、県および各市町の制度融資を積極的に活用して支援を行ってきた。</li> <li>・商工会議所および商工会等との定期的な会合による連携強化</li> </ul>
5. 成果(効果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商工会議所・商工会の会員である取引先に対して「アローズ」や「スクラム」を推進した結果、「商工提携保証」20年度支援額は7件、33百万円で、21年3月末の商工提携保証貸出残高は36件、82百万円となった。</li> </ul>
6. 21年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題	<p>【評価】</p> <p>当金庫と地元商工会議所等とは、長年に亘り良好な関係のもと、共に地域密着を図り、協力して地元企業の支援・育成に寄与してきており、20年度は商工提携保証融資や県市町制度融資の積極的な活用により取引先企業を支援できた。</p> <p>【今後の課題】</p> <p>21年4月から、地元建築業者を支援し、地域住民に貢献し、地域活性化を図ることを目的とした「地域貢献住宅ローン“輝き”」(住宅新築及び増改築で地元建築業者を利用する方が対象、融資額3,000万円以内、融資期間20年以内、金利は実行時の長期プライムレートより0.3%優遇し5年毎見直し)の新規取扱を開始するとともに、従来の「環境・福祉支援資金」を「エコ・介護資金“快適一番”」と改め、商品内容を改正(融資期間を5年以内から8年以内に、金利を実行時の長期プライムレート同率から0.2%優遇に)し、両商品を積極的に推進して、地域の経済活性化と環境・福祉の向上に貢献してまいります。</p>
7. 添付資料	
8. 備考	